

中国人の集まりと私 家族のような存在

グループ4 石岩（せきがん）

1、中国の留学生たちの紹介

初めて、自分の国を離れて、日本へ来て、たくさんの方が分からないので、先輩が、いろいろ教えてもらいました。先輩は何年前も日本へ来た人もいれば、一年間前に来た人もいます。普段、先輩が連れてもらって、買い物したり、遊んだりして、楽しいと思います。特に、休みのとき、遠いところへ行って、旅行したことも多いでした。いろいろなことを体験したうえで、視野も広がってきました。先輩へ感謝します。先輩だけではなくて、ほかの中国からの留学生も、みんな、親切だし、いつも、一緒にご飯を食べて、学校へ行きます。みんな、家族みたいような感じで、とても、幸せだと思います。

2、インタビュー相手について、

中国留学生の中で、毛春龍さんを選んで、話してみたいと思います。彼は、優しいし、料理も上手だから。中国人の集まりの中で、いつも、料理を作ったり、話したりして、非常にいい人だと思います。特に、印象が強かったことは、彼自分で、彼の家に行った前に、もう何人の食事を準備しておきました。とても、感動しました。彼をインタビューして、これからはどのようにこのコミュニティの中で、もっと、よりよく生活するのか、また、料理の作り方などような質問を聞きたいと思います。

3、インタビューの結果

今回、私は毛春龍先輩をインタビューしました。毛さんはもう日本へ来て、4年になりました。今、秋田大学の学生です。私、二人は留学生会館の和室で、一時間ぐらい話しました。ほとんど、日本語で、雑談しましたが、分からないときに中国語で、交流したことになります。そして、終わったら、私、自分で、話の内容をまとめてみて、このインタビュー結果を書いてみました。

毛：よし、、そろそろ、始めましょうか！そんなに、難しい問題を聞くなよ！、（笑う）

私：はい、じゃ、頼むよ。

私：先輩はいつ日本へ来たの？

毛：4年前だよ。

私：最初、来たときは、どうだった？

毛：俺はね、交換留学生と違って、最初ここに来たとき、日本語が全然話せなかった、友達もいなかったし、すごく、困っちゃいましたよ！。

私：そうなんだ！大変だね。

毛：そうよ、日本人は簡単なことを私に言っても、さっぱり、分からなかった。間違った場合が多かった。恥ずかしかったよ。

私：そうね。それは無理もないよね。日本語を勉強した経験がなかったからだ。で、どうやって、どんどん、進めていくんだ？

毛：最初は、俺一人、その時は、恥ずかしくて、ほかの人に迷惑をかけたくないから、自分で、すべてのことをしてしまった。

私：すべて？

毛：たとえば、バイトね。今、ほとんど先輩から紹介してくれただろう。そのとき、俺、日本語全然分からなくても、自分で、探しに行った。そのとき、ただ「募集」と

いう単語だけ、覚えていた。どの店へ行っても、その言葉を出した。結局、日本語が話せないから、失敗した。

私：やっぱり、無理だね。

毛：俺が落ち込んでいたとき、中国の留学生の先輩が手伝ってくれた。

私：どんなきっかけなんだ？

毛：いつも、交流活動がいっぱいあるじゃん、その時、先輩は親切に、俺のことを聞いた。それに、温かい言葉をしてくれた。なんか、その時、家族の感じで、泣きそうに、、、

私：そうね、その時、私なら、多分、がんまんずに、泣き出すかもね。

毛：マジ感動したよ。最初は迷惑をかけたくないだが、先輩たちその話を聞いて、すぐ「水臭いことを言うなよ！私たち家族だろう！毛のことはみんなのことだぞ！もう、一人で行動するのはやめろ！」、、、その話を聞いて、これからも、みんなと一緒に行動しようって決心した。

私：そっか、いいきっかけだね。

毛：それ以来、自分のこと、勉強や生活がどんどん変わってきた。

私：どんな変化？

毛：もう、一人ではなくて、よく、先輩たちと一緒に、ご飯を食べたり、旅行したりして、たくさんのことを体験したよ。

私：いいね。それに、先輩、今の日本語がすごく上手だよ。最初はあんなに、下手のに、、、どうやって、上手になるんだ？

毛：その時の先輩のおかげだよ。彼らはずっと、日本の友達を連れて来て、みんな、集まって、なんでも、話した。そのうちに、俺も、積極的に、簡単な日本語から練習を始めたよ。どんどん、上手になってきた。俺も、気が付かなかったよ、こんなに、ぺらぺら、話せるなんて、、、(笑う)

私：きっと、努力のおかげだよ。そのうちに、友達もいっぱい作っただろう。

毛：ええ、みんな優しいし、いつも、手伝ったからだ。特に、中国の留学生たちも、全部知り合いで、いい友達になったよ。もともと、今年の石たちも、、、

私：よく、先輩の姿が中国人の集まりで見えるんだね

毛：絶対、参加したからだ。

私：これからは、どうやって、よりよく、そのあつまりで、生活のか？

毛：定期的にこのような集まりを行うのはいいかなあ、、、よく、みんなの顔を見えるし、、、

私：また？

毛：秋田で、いろいろ楽しい活動があるから、よく、みんな、集まって、一緒にその活動を参加するのはどうだね？

私：いいじゃん、みんな、活動も体験したし、感情も深くなるし、、、え、そうね、先輩の料理も上手だろう。

毛：誰からその話を聞いたんだ？嘘だよ。

私：嘘、、、どうやって、料理を上手になったんだ？

毛：マジに言えば、そこまでではないよ。ただ、長く、練習した、かなあ、、

私：詳しく、、

毛：中国人の集まりで、料理がいっぱいあるじゃん、、その時、よく、それを作った過程を観察して、いつのまにか、うまく、なってきたよ。

私：ええ？そのおかげか？

毛: そうよ、だから、中国人の集まりが大事でしょう。いろんなことが勉強したから、大事にしてね。

私: そうね。きっと、大事しているから、安心してね。

毛: また、これから、勉強や生活など何か分からないときがあったら、いつでも、先輩の俺に連絡してよ。

私: はい、わかった。今日、ありがとうね。

毛: また、またかよ、気にしないよ。家族だろう。(笑う)

インタビューの結果:

先輩は中国人の集まりがすごく大事だと述べました。なぜかという、その集まりの中で、いい友達を作られるし、日本語も上手になれるし、料理の作り方も分かると思っている。

私も、そう思います。ここに、来たとき、何も、分からなくて、中国の先輩のおかげで、今、秋田の生活が楽しんでできます。これから、このコミュニティを大切にしようと思います。

4: 中国人の集まりと私

人々は、単に自分の力で、生活するのは無理に違いないと思います。特に、留学生にとって、家族と離れて、一人の生活は大変でしょう。幸い、私が大切なコミュニティを見つけました。その集まりで、いつも、家族のような、温かい雰囲気が感じられます。悲しいときであろうと、嬉しいときであろうと、みんな、ずっと、そばにいます。自分の考えや気持ちを自由に分かち合ったり、相談したりして、楽しいと思います。だから、このコミュニティだけ、自分にとって大切だと思います。私と先輩と同じ考えを持っています。先輩は来たばかり時も、随分このコミュニティにお世話になって、そのおかげで、今、もう海外の生活に慣れてきました。その大切さ、自分がしみじみと分かるでしょう。違うところだというと、自分は必ずコミュニティの活動に参加することわけではないと思います。自分は独立な一部で、自分の時間や考えを持ったなければならないと思います。

そのために、これからも、その集まりを大事にしていこうと思います。日本で、自分だけの生活を想像できないでしょう。海外で、自分のことだけでなく、みんな手伝いあうのは大事だと思います。積極的にその集まりの活動を参加したり、先輩と雑談したりして、もっとこのコミュニティで大きな役割を果たしようと思います。

5: クラスについての感想

「多文化コミュニケーション入門Ⅱ」の授業を取って、いろいろいい勉強になりました。今学期の授業のスケジュールの中に、日本人がいる授業とても少ないと思います。日本人の友達を作るどころか、日本語を練習するチャンスもほとんどないと思います。でも、この授業で、別々のグループに分けて、グループの中に必ず日本人がいるということとてもいいと思います。そのおかげで、日本人の友達を作って、日本語でいろいろ相談しました。日本のことも深く理解しました。グループの友達と一緒に散歩したり、ご飯を食べたりして、いい思いがいっぱいだと思います。今、そのお写真を見ると、すぐ、その時のことを思い出しました。とても、楽しいと思います。

改善を希望する点: 授業の中で、グループに分けると、日本人一人だけで、不十分だと思います。もっと日本の方を入れてもらいたいと思います。そうすると、たくさん日本人と友達になれるし、いろいろ日本語で相談することもできるでしょう。